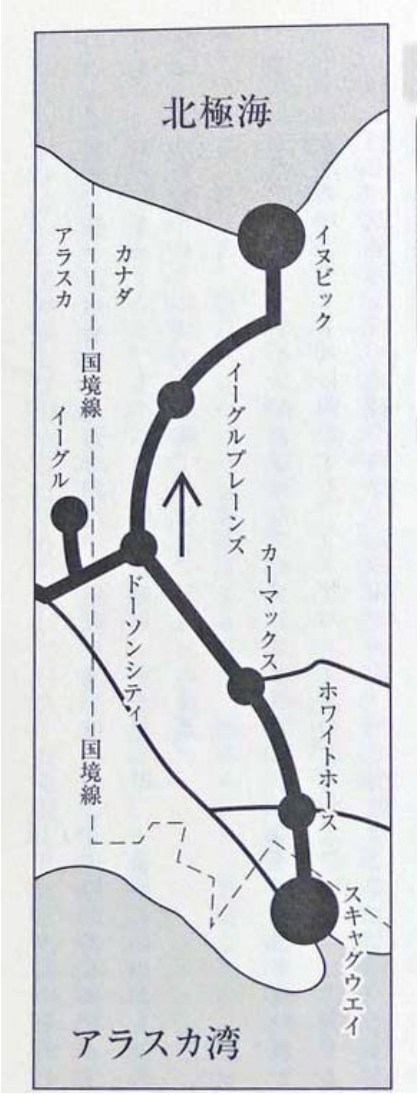
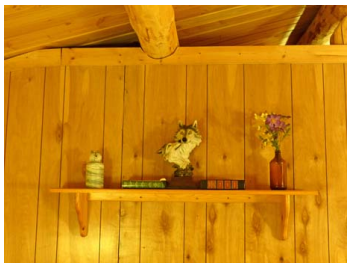
7081　kuraku 久楽世界の旅：アラスカ秋冬の旅　175

以前、チャレンジした、**アラスカ湾から、北極海まで、1.400 キロ挑戦！**
意識、無意識、潜在意識に、強く残っている。
脳裏に思い浮かんだ。いささか興奮したのか、寝つかれない。



山はみどり　野に花　人にはこころ

就寝前、枕元にも、足跡記念として、下記のように、画像記録したから
思い出して、目覚めたのかも知れない。
ポストカードや、小さなお土産、下記のような作品も持参。



著書の「地球４周ひとり行脚」第６章を一部ご紹介。

スキャグウェイの真北の北極海のまち、カナダ領イヌヴィックは、
ユーコン州を縦断した、ノースウエスト準州に位置している。
スキャグウェイからは、片道約 1.400 キロの距離。

気負いも何もない。北極海まで行くことを、心に決めていた。到着地より、
むしろ、道中を楽しむのが、久楽流。様々な出会いや遭遇を期待。
水平線や地平線の向こうに何があるのだろう、とあれこれ、思いをめぐらす。
ものごとを始める時は、夢を見る時、一番楽しいのかも知れない。
夢でスタート、ロマンで発展、そして、現実との遭遇。

アラスカの石油パイプラインが、北極海のプルドーベイの油田から、
役 1.300 キロの旅をして、不凍港のバルディーズに到着する。
フェアバンクスの北、約 200 キロに位置する、ユーコン河で、北極海までの走破を
断念した経緯がある。同じ失敗は、2 度しない。
繰り返さないことを信条としている。めげない男。一度あきらめると、習慣になる。

かと、言って、極端な無理はさける。進化しないと、意味がないからだ。
1 度目の失敗やドジは、私には人生の師である。勉強できるのが、何ともありがたい。
その失敗の中に、成功の秘密がある。
北や血の果てや国境、行けるところまで行きたいのは、男のロマン？
地図を推理すると、道が存在し、到達できそうである。
未知との遭遇、冒険の旅、たかが、ひとり旅だから、知れている。

こうした旅の面白みは、緊張から、五感や感受性が高まる。そういう状況下に、
我が身を置く。英語 TRAVEL は、苦痛、労働、骨折りから、意味する TRAVEL から。
語源は、ラテン語の TRIPALIUM で、拷問に使う責め道具。
したがって、旅は本来、難行苦行だったとある。
手本のない、現実の数々の壁を、突破していくのが、旅の醍醐味。

「兼高かおる世界の旅」で有名な兼高かおるさんが、
某月刊誌の特集の中で、話をされている、言葉に惹かれた。
「物事は、本当にやろうと思えばやれます。困難を考え過ぎて、やらない人が、
多いんですね。用心深くて結構ですけど、前には進まない。
崖から落ちるのも経験で、死ぬのも自分の運命ですから、やってみることね」

誰へのメッセージなのか？　若者に対してか？
私は、素直に、この言葉の気概に感じ入った。まして、私は男、
誰にでも、いろいろな事情はあるもの。
制約もある。束縛もある。義務もある。何か忘れていたものを、再確認した。

東京のお台場、ホテル日航東京、コリドール、ギャラリーで、２ヶ月間の
和紙夢絵作品の「地球紀行展」開催の機会を、頂戴した。
そのオープニングパーティに、兼高かおるさんが、来てくださったのである。
学生時代からの憧れ、雲上人の存在だった。夢をかなえていただいた。
こんな嬉しいことはない。夢は、持ち続けることに意味がある。
その場では、気持ちをおさえていた。多くの皆様のおかげで、その夜は最高だった。
ご好意に感謝するともに、あらためて、お礼申し上げたい。素晴らしい思い出、
心の財産、また、パワーを、頂戴した。

今から、**北をめざすことに集中**する。カナダ国境から、ユーコン準州のホワイトホースに
向けて、車をすすめた。何事も全力で、ぶつかっていくのが信条だ。
ユーコン準州とカナダ、不自由が、あればこそ、自由が味わえる。

ユーコン準州の南西部にあるローガン山は、カナダ最高峰の 5.959 メートル。
この準州は、タイガと、ツンドラに、分けられる。
タイガは亜北極地帯を囲む亜寒帯森林。ツンドラ地帯は、北極地方の岩だらけの平原で、
厳しい紀行条件のため、植物が育たない。道路事情も、悪路の一語につきる。
車は、飛びあがることが、しょっちゅうだった。
慎重に、慎重を重ねてきたものの、ついに、タイヤを損傷してしまい、スペアタイヤと
取り替えた。車の好きな私も、さすがに疲れた。

宿はないかと、探していたところ、運良く、看板が目についた。
レストラン兼ホテルで、部屋も空いていた。
まず、タイヤの修理は、どこでできるのか、と尋ねると、ホワイトホースまで
行く必要があるとのこと。少し距離もあり、明日あらためて頑張ろう。
こういう状況下、一呼吸おくに限る。コーヒーを部屋に運んだ。
今ひとつ、きりをつける仕事。夢絵はがきのつづきを、書き始めた。

翌日も、早く目が覚めた。タイヤのことが気になる。車の自主点検を済ませた。
食堂が開くと同時に、朝食を済ませて、出発した。
目に飛び込む景観に、未練があったが、振り切った。とにかく、タイヤの修理が最優先。
ここで、また、一呼吸、慎重に、車をすすめた。

ホワイトホースは、政治経済の中心である。やっとのことで、
ホワイトホースにたどり着いた。ユーコンタイヤメカニカルという会社が中心部にあった
その時、タイヤが２本、使用不可能になっていた。
レンタカーの会社に報告、早速取り替えの交渉にかかる。借りたのは、米国アメリカ。
ここはカナダ。パンクした状態が悪く、単なる修理で済まない状態だった。

自動車工場の人に状況を説明してもらった。
新しいタイヤを２本取り替え、保険修理も成立し、ほっとした。
さらに、北極圏イヌヴィックまで行きたいと事情を話し、念入りな総合点検を依頼した。
タイヤの空気圧から内部点検まで、その作業の手順は、実に手際が良かった。
まず、一安心。ベテラン技術者に出会えたことがラッキーだった。

地球紀行において、こうした状況にさらされたのは、今回だけではない。
イベリア半島、スペイン巡礼の道、カンタブリカ山脈での故障、
カナダ東部ケベックから北上、ラブラドールへの道中、広大な平野でのトラブル。
お国事情も、車種も違う。ポーランドや、中米では、新車など走っていない状況だった。
コラムシフトのギァーチェンジもある。車も道も、いろいろ。

いずれにしろ、日本では、車の故障など考えられないが、
外国では、故障はつきもの。修理工場があれば、しめたもの、探すのも、一苦労。
たとえみつかっても、ジェスチャーをまじえて、説明に四苦八苦。
冷や汗ものの体験も、いろいろだが、なんとか、クリアーしてきた。

必要以上に、注意を払うことも、無事に旅をつづけ、楽しくするための絶対条件。
うっかりとか、人為的なミスは避けたい。何しろ、ひとり旅。
アメリカとはいえ、ここは僻地。全行程が、悪路とは思わないが、
覚悟と準備だけは、しておかねばならない。これから先、街らしい町は、ないようだ。

旅のスタイルにもよるが、一人旅は、人を鍛え、人を変えるのではないだろうか。
強いというより、強くならざるを得ない体験ができる。
冒険者にとって、気持ちが前向きでないと、物事は、達せられない。
夢も希望もない状況があるかも知れない。身軽におくことも肝心と言われる。
その後を考えすぎるから、決断できない。
過去もおいていく。ひきずらないで、今に集中する。
体と心と呼吸を整えて、出発したい。

このホワイトホースに宿泊し、心置きなくとの思いもあった。
町中の店を、くまなく見て歩き、楽しんだ。足腰の訓練にもなる。おしゃれな街だった。
家具、インテリア、デザイン、形状、色彩、内装、備品などに、目がいった。
人間ウオッチングを楽しみ、食事も楽しかった。
食料、飲み物なども購入し、車に掘り込み、準備万端整った。

ホワイトホースを北上してからの道路も、郊外でると、地道の荒れた厳しい道が続いた。
パンクだけは２度とご免だ。骨身に、こたえている。
それにしても、古タイヤを放置した場所を、よく見かける。

ふと、メキシコの出来事を思いだした。1996～3 月～5 月、
メキシコシティから、カリブ海沿に、ベラクルス、メリダ、マヤ遺跡を経て、
カンクーンまでの道中、急勾配の坂道。
七曲がり、八曲がりの峠、文字通りの難所だった。

小型のクレー車が、20 数台、分散して待機していたので、何事かと思い、
驚いたことがある。メキシコは、中古車が多く、エンストを見越しての、商売だった。
需要があるから、供給があるという図式だ。充分に気を配っていても、
確率的に発生するようだ。

アラスカでも、自動車の修理工場やタイヤの置き場を見かけたのは、
それだけの需要があり、それほどの悪路だったと言える。
メキシコでは、難を逃れたが、すでに、昨日、遭遇した体験は、貴重だ。
ホワイトホースを、出発してからでなく、ラッキーだった。

人間。単調になると、気もゆるむ。時に、挑戦する気力が、薄れてくる。
注意も散漫になる。慣れや油断は恐い。
誰も注意してくれる人がいない。言い訳や正当化、自分に都合よく解釈して諦めてしまう
果たしてそれでいいのだろうか？　自由は、時に、不自由である。

いや、不自由があればこそ、自由がある。と言えないか。
自由、不自由ばかりでは、それが、本当に自由なのか、不自由なのか。
ドーソンシティへ行く道中、もう一泊した。

ひとり旅の状況や様子が、想像できればと、当時の文章、そのまま
何しろ、50 歳からの夢挑戦、昭和の人間の、古い話、
当時は、このように、・・・

ALASKA
(U.S.A.)
YUKON
NUNAVUT
VICTORIA
ISLAND
NORTHWEST TERRITORIES
MACKENZIE MTS
SELWYN MTS
PELLY MS
BRITISH
COLUMBIA
ALBERTA
SASKATCHEWA
Edmonton
Calgary
Lethbridge
Vancouver
VANCOUVER
ISLAND
WASHINGTON
Seattle
Spokane
Portland
MONTANA
PACIFIC
OCEAN